23 西伊豆歩道（丸山コース）

西伊豆歩道丸山コースは、通り崎コースと合わせても4㌔程度なので1日コースとして歩くことはできる。

起点の八木沢までは**修善寺駅**から**松崎**行き、**長八美術館**行きのバスで55分。車利用の場合は、丸山スポーツ公園の駐車場を利用して、帰りはバス利用で戻ることになる。

通り崎コースの終点・八木沢から海岸方面に行くと八木沢漁港。西伊豆の明るい海と船だまりのある小さな漁村風景が見られる。浜橋、君沢橋の小さな橋を渡る。

防波堤につけられた舗装道が海岸線岸に沿って延びている。途中、左手に**丸山スポーツ公園**がある。ここは土肥桜とハマボウの群生地として知られている花名所である。2月には白と薄ピンク色の土肥桜が、7月にはハイビスカスに似た黄色いハマボウが咲く。

海岸に沿って15分ほど進むと左手に急な石段がある。約130段ほどの長い階段を上り切り、小さな分岐を左に入ると**丸山園地**。山隋大権現の鳥居と小さな社があり、**丸山城跡**の解説板がある。

「この城は北条氏に属した土肥・高谷城主富永氏の出城とされ、西に対する沿岸防備の一翼を担う水軍基地であったが、天正18年（1590）に豊臣水軍の攻撃を受けて落城したものといわれています。ここにあるのは出城跡（旧城）で、本城跡（新城）は国道の南側の丘陵にあったと思われ、今でも、この周辺には0．6㌔～1．2㌔、幅1㌔の土塁をめぐらした曲輪が見られます・・・」

▲丸山園地

分岐まで戻り左に下って上ると国道に出る。車に注意して横断し道標の所から山道へと入る。石畳の敷かれた坂道を上って、道が平坦になると**富士見園地**。振り返ると、その名の通り富士山が見える。そばに「**おこり石**」とその解説板がある。休憩舎の所に道標。里山園地0．8㌔

駿河湾越しに富士山が望める海辺近くの自然遊歩道

▲丸山園地からの富士山

丸山園地0．4㌔。コンクリート製の水槽から右に曲がり、畑の中を下れば国道に出る。国道を左に行くとすぐに大久保のバス停があり、左手に眼病・イボ取りにご利益のある「地持地蔵菩薩」が祀られている。参拝する時に、奇麗な水を持参し、お供えした後に祈願した水を持ち帰り、目やイボにつけるとよいといわれている。

大守院には弘法大師が数珠をかけたと言われる「数珠かけ石」と見ざる・言わざる・聞かざるの三猿が彫られた青面金剛の石碑（庚申塔）、富士見観音などが祀られている。**庚申塔**は、この石碑を左縄に綯った荒縄で縛ると、不思議と失せ物が出てくると言われている。

大守院の裏手の坂道を上って行く。石の敷かれた道を真っすぐ上り、車道を突っ切って更に上ると、また車道に出る。すぐ先で右に**熊野神社**へと曲がり、みかん畑の中を上るとトイレのある**里山園地の入口**に出る。左に土肥桜が植栽された車道を上ると広い三差路。すぐ左手に里山園地の遊歩道入口が見える。里山園地の遊歩道沿いには薄墨桜二世や瀧桜二世などが植栽されていて、3月中旬ころ訪れると満開の桜に出会うことができる。ぐるりと遊歩道を一周してこよう。休憩舎のある山頂からは富士山が望める。

足元に転がる大石は**力石**と言って、若者が祭りなどで力試しに使ったものである。

戻って車道を下れば終点の**駿豆学園**のバス停に出る。

西伊豆歩道の廻り崎コースの起点・小下田までは、国道を1．3㌔、バスなら2～3分の所なので歩いても20分くらいである。

▲富士見園地

▲瀧桜二世

▲里山園地からの展望